

ては、周辺との調和に配慮し高明度・高彩度の色を避けることなどを求める。

このほか、▽空調やプロパンガス、配管等の屋外設置物は通りから見えないように設置するように努める▽駐車場・駐輪場

は、自然景観や周辺の建築物等と調和させ、緑化や舗装デザインに配慮する▽敷地内の既存樹木は極力保全し修景に努めるとともに、敷地内のオープンスペースの緑化等に努める―なども求める。

締役)は、環境方針に基づき産業廃棄物の削減とリサイクル化、省エネ設計、電気・水道・燃料の効率的活用等、幅広い環境目的・目標を設定し、達成に向け積極的に取り組んでいることなどが評価された。

宮崎銀行

みやぎん環境格付でSランク

九南、はやま、日新の3社

環境負荷低減への取り組みを推進している企業を支援するため、ことし9月より(株)宮崎銀行(小池光一頭取)が運用を開始した環境格付融資制度「みやぎん環境格付」において、新たに▽(株)九南(宮崎市)▽はやま建設(株)(都城市)▽日新興業(株)(延岡市)―の3社が「優良(S)」の格付を取得した。

同制度では、企業の環

境負荷低減の取り組みを環境リスクや環境ビジネスへの対応力、環境コミュニケーションなどの

観点から評点化し、5段階の格付を付与する。格付を取得した企業は、格付に応じて同行所定金利から最大0・8%の割引を行う「みやぎん環境格付融資制度」を利用することができる。

格付取得企業のうち、(株)九南(安田耕一代表取

ははやま建設(株)徳留良一代表取締役)は、酸化を抑制し還元を促進する特殊酵素を採用したエコパラダイス工法を推進し、地球環境の浄化に寄与していることや、太陽光発電設備普及に対する社内報奨金制度を制定していることなどが評価された。

また、日新興業(株)(河野孝夫代表取締役)は、環境に配慮した工法を積極的に推進していることや、アスファルト・コンクリートの破片を処理する再生材プラントを保有し、資源リサイクル分野および環境エネルギーの循環に貢献していることなどが評価された。

約率は44・1%

事業等契約状況

県土整備部が751億8600万円(同2%増)、農政水産部が121億5

0万円(47・6%)、環境森林部が43億2700万円(51・4%)。その他の部局(45億5300万円、契約率45・7%)を合わせた全体の契約済額は465億9300万円で、契約率は44・1%。前年同期には全体の

宮崎銀行では取引企業等を対象に、同社の各営業店舗において環境格付の申請等を受け付けている。制度に関する問い合わせは、株式会社宮崎銀行営業統括部(電話0985-13218223番)まで。